

平成26年度 札幌医科大学医学部医学科・大学院医学研究科
MD-PhDプログラム学生募集要項

1. 募集人員
若干名

2. 募集科目

専攻	領域	科目	担当講座等
地域医療人間 総合医学	地域医療総合医学	環境保健予防医学	衛生学
		地域保健予防医学	公衆衛生学
		健康行動科学	心理学
	人間総合医療学	法医学	法医学
		放射線防護学	物理学
		医学領域知的財産学	医科知的財産管理学
		臨床遺伝学	遺伝医学
	発生分化・加齢制御医学	臓器発生・再生医学	フロンティア医学研究所 組織再生学部門
		神経再生医療学	フロンティア医学研究所 神経再生医療学部門
	生体防御医学	感染防御・制御学	微生物学
分子免疫制御学		病理学第一	
分子・器官制御医学	遺伝子医学	ゲノム医科学	フロンティア医学研究所 ゲノム医科学部門
		分子医学	フロンティア医学研究所 分子医学部門
		分子細胞生物学	生物学
分子腫瘍医学	腫瘍免疫学	病理学第一	
情報伝達制御医学	神経科学	脳神経機能学	神経科学
		脳神経機能薬理学	薬理学
	生体機能制御学	細胞機能情報学	細胞生理学
		分子医化学	医化学
		応用分子生物学	分子生物学
		分子解析学	分子解析学
		免疫制御医学	フロンティア医学研究所 免疫制御医学部門
	生体構造情報学	分子病態生物学	病理学第二
		生体情報形態学	解剖学第一
		生体機能構造学	解剖学第二
		病態分子情報学	フロンティア医学研究所 病態情報学部門
		分子細胞科学	フロンティア医学研究所 細胞科学部門

3. 出願手続き

(1) 出願期間

平成25年11月18日(月)から平成25年11月27日(水)まで
(午前9時から午後5時まで。ただし、土曜、日曜、祝日を除く。)

(2) 出願書類

- ① 入学願書 募集要項に添付の様式による
② 写真 2枚 出願前3ヶ月以内に撮影したもの
(縦4cm×横3cm、正面、上半身、脱帽のもので、裏面に氏名を記入してください。)

4. 出願資格

出願時に本学医学部に在籍する1年次、2年次、3年次および4年次の学生で所定の単位を修得した者。

5年次学生については、前期プログラム期間が6年生時一年間のみとなるため、基本的にはMD-PhDプログラムに入ることはできない。ただし、強い意欲と動機がある者については出願を認める。

5. 試験

試験日	試験科目	時間	場所
平成25年 12月13日(金)	外国語	17:20~18:50	教育南棟2階 第3講義室
	専攻主科目	19:00~20:00	各教授室

外国語試験は、英語Ⅰ及び英語Ⅱとする。

※ 受験者は、12月13日(金)は、17時10分までに教育南棟2階第3講義室前で受付をしてください。

6. 合格発表

平成26年1月10日(金)午前10時に大学東玄関に掲示するほか、本人に通知する。

7. コースの選択

MD-PhDプログラムに入った者は、以下のコース1から2のいずれかを選択できる。

コース1

医学部 1年	医学部 2年	医学部 3年	医学部 4年	医学部 5年	医学部 6年	MD.PhD 2年	MD.PhD 3年	MD.PhD 4年	臨床研修 (2年)
前期プログラム						後期プログラム 修了			
国家試験 研究助成、RA適用									

コース2

医学部 1年	医学部 2年	医学部 3年	医学部 4年	医学部 5年	医学部 6年	臨床研修 (2年)	MD.PhD 2年	MD.PhD 3年	MD.PhD 4年
前期プログラム						国家試験	後期プログラム 修了		
研究助成、RA適用									

コース2について：初期臨床研修後、後期プログラムを開始することを原則とするが、後期臨床研修を希望するときは、後期プログラムへの強い意欲と動機がある者について、大学院医学研究科委員会の承認を得た場合は、後期臨床研修後の後期プログラム開始を認めるものとする。

8. 前期プログラム(コース1、2)について

コース1又は2を選択した学生は、医学部在学期間中に前期プログラムを受けなければならない。前期プログラム期間は、大学院医学研究科の「2. 募集科目」に記した専攻、領域、科目から指導教授を決め、その科目に所属して研究指導を受ける(詳細は指導教授に問い合わせられたい)。同時に、MD-PhD プログラム特別講義(後出)に出席しなければならない。

他に、MD-PhD プログラム終了までに、通常の大学院課程の大学院特別セミナー(詳細は大学院履修概要参照)を受講し規定の総単位を修得しなければならない(「11. MD-PhD 後期プログラムにおける単位取得」参照)。

9. MD-PhD 前期プログラム特別講義

前期プログラム時に MD-PhD プログラムのための特別講義を行う予定である(月1~2回程度)。

10. 前期プログラムプログレスレポート

前期プログラムの終了時にプログレスレポート(A4版用紙5枚程度、様式自由)を学務課主査(大学院)へ提出し、同時に指導教授の審査を受け、合格と判断されることをもって前期プログラムの修了とする(発表論文(日本語・英語を問わない)が既にある場合、それをプログレスレポートに代用できる)。

11. MD-PhD 後期プログラムにおける単位取得、学位論文提出等

MD-PhD 後期プログラムは、大学院専任期間を示す。後期プログラム開始に当たっては再度試験等を課すことはない。後期プログラムでは通常の大学院課程と同様、主科目、副科目及び共通教育科目について必要な単位を学位論文提出までに取得しなければならない(詳細は「大学院履修概要」参照)。

12. 経済的支援(助成金、RA)

(1) 学会等に出席した際の旅費の一部助成有り

(2) 研究助成の対象者はリサーチ・アシスタント(RA)の適用を優先的に受けることができる(年間56万円/人)。申請手続きの詳細は学務課研究支援係主査(大学院)に問い合わせること。

13. 書類の提出及び問い合わせ先

出願書類、入学手続書類の提出及び学生募集要項、大学院に関しての各種照会は、学務課研究支援係主査(大学院)までお願いします。

東棟1F 事務局学務課研究支援係主査(大学院) 内線 2177

14. その他

(1) 入学検定料、入学料

後期プログラム開始時に、入学検定料、入学料が必要になります。

※平成 25 年度の額は、入学検定料 30,000 円、入学料 282,000 円。

(2) コース変更

コースを途中で変更する場合は、理由書(様式例 1)を提出し、大学院医学研究科長の許可を得なくてはなりません。

(3) 履修科目変更

前期プログラム期間中に研究指導を受ける指導教授の変更を希望する場合は、現在および変更予定の科目の指導教授の承認を得た後、履修科目変更願(様式例 2)を提出し大学院医学研究科長の許可を受けなければなりません。

(4) プログラム辞退

MD-PhD プログラム入学後、事情で取りやめる場合、理由書(様式例 3)を作成し指導教授の承認を得た上で大学院医学研究科長の許可を得なくてはなりません。